

令和2年度第1回寒川町自殺対策計画推進協議会（書面会議）結果

○資料発送日

令和3年1月20日（水）

○意見等提出期限

令和3年2月8日（月）

<議 題>

- ・令和元年度寒川町自殺対策事業実施結果について（資料1～3）

資料1～3について確認。提出された意見は、別紙のとおり

<配布資料>

- ・会議次第
- ・資料1 寒川町自殺対策計画進捗確認シート（基本施策）
- ・資料2 寒川町自殺対策計画進捗確認シート（重点施策）
- ・資料3 寒川町生きる支援の関連施策一覧
- ・回答記入票

令和2年度 第1回寒川町自殺対策計画推進協議会（書面開催）意見とりまとめ

資料No.	意見概要	事務局からの補足事項等
資料1・2-1、 資料2・(2)-1 資料3・No3	<p>【ゲートキーパー養成研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修会開催について、集合型研修とせず、ビデオ等の利用によるものに変更し、実施できるように整備してはどうか。 ・研修会の対象を限定せず、数年に一度は全員の職員が受講できるようにしてはどうか。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、各イベントの中止はやむを得ないが、新型コロナウイルス感染症禍において自殺者が増加している状況も鑑み、自殺対策に一層強化して取り組む必要があると思います。 	<p>職員研修においては総務課からの依頼に基づき実施をしているところです。今後の研修体系に合わせ、オンライン研修なども検討してまいります。</p> <p>自殺対策については、ゲートキーパー研修や懸垂幕、のぼり旗、広報誌、ホームページなどを活用し、自殺に傾いた方がSOSを出しやすい社会、しかるべき相談先に繋がることができるよう取り組みを推進してまいります。</p>
資料1・2-1	<p>【ゲートキーパー養成研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの影響で、さまざまな人が悩み苦しき、以前より自殺を考える人が増えていくであろう日を思うと幅広い世代の多数の町民がこの様な養成研修があること、受けやすい状況など課題が必要だと思えます。 	<p>幅広い年代に向け、相談先の周知や保健所との連携をし、啓発の周知ができるよう検討してまいります。</p>
資料1・4-①-4,4-①-5	<p>実施状況項目が逆になっているので訂正してください。</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。 別紙のとおり訂正させていただきます。</p>
資料1・4-②-2,5-1	<p>実施状況項目にあるSSWは何の略ですか、教えてください。</p>	<p>SSWは、スクールソーシャルワーカー (SCHOOL SOCIAL WORKER)の略です。 児童・生徒が抱えているいろいろな問題に対して相談を受けたり、問題解決のために関係機関等と連携して支援を行います。</p>
資料2	<p>介護予防事業の今後の実施計画の項目にて一部の事業は目的が達成されたので、令和2年度より休止とありますが、事業の活性化を維持する為にも継続していくべきではないでしょうか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 4つの介護予防事業のうち1つについては、町から運動指導講師を派遣しなくても自主的な運動グループで活動ができるようになったため、令和2年度から講師の派遣を休止することといたしました。他の3つの介護予防事業は、コロナ禍において感染拡大防止対策を図りながら、引き続き実施してまいります。</p>
資料3	<p>職員研修事業の令和元年度実施状況の項目にて、研修受講者数：15名（4月）、9名（10月）とありますが、これは資料1・2-1ゲートキーパー養成研修の参加者とは異なる方々ですか。もし、新採用職員が同メンバーだとしたら、資料1・2-1の4月11名から資料3の15名（4月）というのは、矛盾するのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。 職員研修事業とゲートキーパー養成研修の参加者は同じですので、訂正いたします。 職員研修事業 研修受講者数：15→11名（4月）、 9→7名（10月）</p>

資料 1	<p>自殺対策において様々な対策がつながり連携していくことが重要と考えますが、今後推進していく中で、庁内連携による事業実施や全庁的に自殺対策への理解を深めていく取組は検討されていますか。</p>	<p>委員がおっしゃるとおり、連携して自殺対策を推進していく重要性を認識しております。</p> <p>庁内連携による事業については、自殺予防週間に合わせ、福祉、健康部門と連携を図り街頭啓発を行ったり、教育委員会と連携し、図書館における特設展示の開催、普及啓発を行っているところで</p> <p>また、自殺対策庁内連絡会を活用し、関係部署との緊密に連携をとり自殺対策への理解を深めてまいります。</p>
資料 1 4-②-6	<p>民生委員・児童委員 活動実施日数9,604日とありますが、この数字が実際多いのか少ないのかよく分かりません。委員が70名いらっしゃるのので委員1人平均が137日と示されればぐっと身近な数字となりわかりやすいのでは。委員の方々には頭が下がる思いです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>感覚的にわかりやすい表記の仕方を検討してまいります。</p>
資料 2 (1)-1,(1)-2	<p>高齢者生きがいづくり等支援事業、 介護予防事業 仲間づくりをしたい人と、人との関わりは求めているが何か活動したい人、2つの形があると思います。高齢者本人が直接活動の場に出ることが大切なので、様々なパターンを用意してほしいと思います。</p>	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>高齢者の方の様々なニーズがあると思いますので、他課と連携して支援ができるよう努力してまいります。</p>
資料 2 (1)-5	<p>家族介護者への支援 私事ですが親に認知症が発症しており、認知症とは何かを知ることから始まり、多くの方に情報をいただくことができたためあまり深刻にならずに済みました。介護の種類ごとに課題があり深刻さもそれぞれだと思います。個別の相談とは違い、他の参加者との情報交換などを行える場としてさらに発展していただきたいです。</p>	<p>高齢者を介護しているご家族の精神的負担の軽減を図ることが重要であると考えますので、参加者同士の情報交換を行える場として継続してまいります。</p>
資料 3 No.1 3～17	<p>団体へのゲートキーパー研修の実施の有無という結果だけでなく、調整を行ったができなかったなど事業への取組みがあれば記載していただきたい。</p> <p>また、担当者の評価欄に「実施していないため未評価」としていますが、できなかったことに対する評価が必要なのではと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>4つの介護予防事業のうち1つについては、運動指導講師を派遣しなくても自主的な運動グループで活動できるようになったため、令和2年度から講師の派遣を休止することにいたしました。他の介護予防事業は引き続き実施してまいります。</p>
その他	<p>年度末においては新型コロナ対策で予定の事業ができなかったものもありご苦労されたことと思います。</p> <p>全体を通しての意見として、「実施状況」と「実施状況に関する担当課の評価」の欄がありますが、具体的な数などは実施状況に記入し、担当課の評価欄には、例えば資料1 5-2の子育て世代包括支援センター事業のように、具体数と共に「すべて対応できた。」のように書いていただくと、担当課としての評価がわかりやすいと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>わかりやすい表記をこころがけてまいります。</p>

<p>資料全体</p>	<p>資料1,2,3の「今後の実施計画」の記載事項について「新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止や事業縮小あり」の記載が散見されます。</p> <p>2度目の緊急事態宣言が出されている状況下では、こうした記載が多くなるのはやむをえないことですが、長引くコロナ禍のなか、町民の方々の心の健康度は低下し、警察署の全国自殺統計の月別自殺者数の推移でも昨年7月から12月にかけては昨年度同月の自殺者数を上回り、特に女性の自殺者数の増加が目立ちます。</p> <p>コロナ問題は今後さらに長引くおそれが高いので、今後、寒川町での地域で「ささえる」体制の整備を進めるなどの工夫が求められます。</p> <p>実際、町内の各種相談窓口では、自殺がらみの相談が増加するおそれがあります。窓口担当者が、アンテナを高くして相談者に必要でかつ町として提供しうる具体的な支援につなげていくことが求められます。そのためには、庁内職員の研修実施と相互連携ネットワーク網の整備に向けた各部署間の情報交換が必要です。</p> <p>行政職員を対象にしたゲートキーパー養成については、県内他市町村でeラーニング形式のゲートキーパー養成を行っているところもあると聞いています。</p> <p>また、町民対象の自殺対策講演会や行政施策なども、可能であれば、オンラインで行うことなども検討していただけるとよいと思います。</p> <p>また、これらの各種取り組みの評価については、先に行った自殺対策にかかる町民アンケートも必要かと考えます。</p> <p>表現については、「新型コロナウイルス感染症の情勢をふまえ事業の実施方法などについて検討する」など、実現可能な表現の仕方について見直しが必要と思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>長引くコロナ禍のなかで、全国の自殺者数が増加していること、特に女性や青少年の自殺者が増えているというニュースを耳にする、心が痛みます。</p> <p>3月は特に自殺者が増加する自殺対策強化月間ではありますが、今年度初めて、若年層向けに、電話・SNSで相談できる窓口案内のチラシを作成し、町内の3中学校と高等学校へ配布しました。悩みを抱えている方にとっては、自分の話にしっかりと耳を傾けてくれる方がいることが何よりの力になると思います。いろいろな相談窓口があるということを知っていただくことで、少しでも心の負担を軽くする支援をしたいと思います。</p> <p>自殺対策については、ゲートキーパー研修や懸垂幕、のぼり旗、広報誌、ホームページなどを活用し、自殺に傾いた方がSOSを出しやすい社会、しかるべき相談先に繋がることのできるよう取り組みを推進してまいります。</p> <p>職員研修においては総務課からの依頼に基づき実施をしているところです。今後の研修体系に合わせ、オンライン研修なども検討してまいります。</p> <p>評価につきましては、寒川町自殺対策庁内連絡会の他に町民アンケートをとることも一つの方法として検討してまいります。</p> <p>また、表現方法についてご助言いただき、ありがとうございます。</p>
-------------	---	---

計画における項目	実施内容	計画書ページ	担当部署	担当課	再掲	令和元年度実施状況	令和元年度 実施状況に関する担当課の評価	今後(令和2年度以降)の実施計画
基本施策1 地域におけるネットワークの強化								
1-1. 寒川町自殺対策計画推進協議会の設置	計画の策定及び推進、自殺対策のための情報交換及び連携強化のため、協議会を設置します。	P.18	町民部	町民窓口課		年4回開催(7月、9月、10月、1月)	自殺対策計画策定に向けて関係機関・団体の代表者等と協議することができた。	実施を継続(新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止や事業縮小あり)
1-2. 寒川町自殺対策庁内連絡会の設置	計画の策定、計画の各取組を推進するため、町内連絡会を設置します。	P.18	町民部	町民窓口課		年2回開催(8月、1月)	自殺対策計画策定に向けて計画に関わる各課等と協議、調整することができた。	実施を継続(新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止や事業縮小あり)
基本施策2 自殺対策を支える人材の育成								
2-1. ゲートキーパー(こころサポーター)養成研修	自殺対策を支える人材の養成研修を実施します。	P.18	町民部	町民窓口課		年3回実施(4月11名、5月49名、10月7名の職員参加)	管理職及び新採用職員等を対象にゲートキーパー研修を開催し、自殺対策を支える人材養成ができた。	実施を継続(新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止や事業縮小あり)
基本施策3 住民への啓発と周知								
3-1. 自殺予防週間街頭啓発	自殺予防週間に合わせ、相談窓口の情報を掲載したリーフレット等の配布を行います。	P.19	町民部 福祉部 健康子ども部	町民窓口課 福祉課 健康・スポーツ課		9月の自殺予防週間において、町民に対して自殺防止に関する認識を深めてもらうため、街頭キャンペーンを実施した。町内3カ所、ポケットティッシュ500個配布。	自殺防止対策の普及啓発を推進することができた。	実施を継続(新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止や事業縮小あり)
3-2. 図書館における特設展示	夏休み明けにこころのバランスを崩す子どもが多いことから、8月下旬から9月上旬にかけ、生きるをテーマにした図書の展示及び貸出、リーフレット等の配布を実施します。	P.19	町民部 教育委員会	町民窓口課 教育総務課		8月28日～9月16日まで総合図書館において、複合展示「誰も自殺に追い込まれることのない社会」を実施した。展示した資料は54冊。展示期間中の貸し出し数は44冊。	生きるをテーマにした図書の展示及び貸出、リーフレット等の配布を時期、場所を含め効果的に行うことができた。	実施を継続(新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止や事業縮小あり)
3-3. 健康普及事業	町民が自発的に健康づくりに取り組める機会や場を提供します。	P.19	健康子ども	健康・スポーツ課		健康普及講座やライフステージ別料理教室など各種講座を65回実施	町民が自発的に健康づくりに取り組める機会や場を提供できた。	実施を継続(新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止や事業縮小あり)
基本施策4 生きることの促進要因への支援 ①生きがいがづくり活動の支援 ②相談体制の充実 ③遺された人への支援								
4-①-1. 健康普及事業	町民が自発的に健康づくりに取り組める機会や場を提供します。	P.20	健康子ども	健康・スポーツ課	○	健康普及講座やライフステージ別料理教室など各種講座を65回実施	町民が自発的に健康づくりに取り組める機会や場を提供できた。	実施を継続(新型コロナウイルス感染症予防対策のため、中止や事業縮小あり)
4-①-2. 生涯学習振興事業	様々な媒体を活用した情報提供体制を整備し、各種講座やイベント等を開催し、町民の生涯学習機会の拡充をはかります。	P.20	町民部ほか	協働文化推進課 講座担当課等		各課等で実施する講座等を町民大学として取りまとめ情報提供を行うとともに、各種講座やイベント等を開催した。	情報提供や講座等の開催により、生涯学習の機会を提供することができた。	実施を継続
4-①-3. 社会教育振興事業	公民館を地域の学びの拠点として、あらゆる世代を対象とした様々な分野の講座等の開催、サークル活動の場、成果発表の場等を提供します。	P.20	教育委員会	教育総務課		開館日数：全館348日(うち3月3日～3月31日まで貸室中止) 利用団体数：4館合計10,335団体 利用者数：4館合計138,923人 講座等開催数：3館合計 120事業/208回/14,750人参加	公民館を地域の学びの拠点として、あらゆる世代を対象とした様々な分野の講座等の開催、サークル活動の場を提供できた。成果発表の場として毎年2～3月に3館で公民館まつりを実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和元年度は中止した。	事業を継続(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月1日から6月15日まで貸室中止、8月まで講座・イベント等は中止)
4-①-4. 高齢者生きがいがづくり等支援事業	シニアクラブの会員相互の親睦や地域での生きがいと健康づくりの推進のため、シニアクラブ連合会及び各シニアクラブの活動の活性化を支援します。	P.20	福祉部	高齢介護課		補助金交付により、クラブ活動を活性化させ、クラブ会員の親睦と連携の強化を図り、活動に参加することで自らの老後を健全で豊かなものとし、健康の保持・増進を図ることを支援した。	補助金を交付し、シニアクラブの運営にも協力し、活性化に努めた。	会員の減少がみられるが、協力体制を強化し、会員数の増加を図り、高齢者が入会したくなるような魅力ある組織としていく。
4-①-5. シルバー人材センター支援事業	寒川町シルバー人材センターの機能充実・支援を推進し、高齢者の社会参加の場の確保と生きがいや社会貢献の推進を図ります。	P.21	福祉部	高齢介護課		補助金交付により、シルバー人材センターの機能の充実・支援を進め、生きがい対策・社会参加の促進を支援。	補助金を交付し、シルバー人材センターの運営にも協力し、機能の充実と支援に努めた。	会員の減少がみられるが、協力体制を強化し、会員数の増加を図り、高齢者が入会したくなるような魅力ある組織としていく。
4-①-6. 介護予防事業	高齢者の生活の質の向上を図るため、高齢者の心身機能の改善や閉じこもり・うつ予防の支援、社会参加を促すための各種介護予防事業を実施します。	P.21	福祉部	高齢介護課		高齢者の心身機能の改善やとじこもり・うつ予防の支援や社会活動への参加を促すため、各種運動講座や講師派遣事業などで支援をおこなった。	毎回100名近い参加がある運動教室や、前年比申込数130%UPの講師派遣事業など町民に対する認知度は一定以上得られた。	前年同様継続していくが、町民による自主運動グループができたことにより、一部の事業は目的が達成されたので、令和2年度より休止。
4-①-7. 就業・就労支援事業	一般就労に向けて作業所等に通所する障がい者に対して交通費を助成します。 また、障がい者の就労の場の確保と職場定着を支援する障害者地域就労援助センター事業助成を2市1町(藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町)で行います。	P.21	福祉部	福祉課		年間の通所交通費支給対象者 101名 就労援助センター利用者 9名 ※通所交通費対象者については、年度途中での追加や、就労により、事業所の利用を終了した者なども含む延べ人数となる。	作業所等を利用している者に対し、必要に応じて通所交通費の助成を行うことができた。	実施を継続